企業・団体名（　　アルピコ交通株式会社　　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・グループコンプライアンスマニュアルとして明文化し方針を遵守している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントの防止排除のため、規程として明文化している。 ・グループコンプライアンス・セクハラ・パワハラホットラインを設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・勤怠管理システム導入により、時間外管理と時間外アラートの発信を行っている								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・グループコンプライアンスマニュアルとして明文化し方針を遵守している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・毎月の安全衛生委員会に産業医が同席し、社内の状況共有をし安全衛生に取り組んでいる			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・長時間労働者等が産業医と面談できる体制を構築してる			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・グループ目標「男性の育児休業率取得率100%」を掲げ、管理職への研修等を実施している ・女性活躍推進法に基づく情報公開をしている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・グループ通信教育の実施及び優秀修了者への補助を行っている ・各種研修の実施 （内定者向け、ビジネスベーシック・ミニMBA・係長向けリーダー研修・労務管理研修・評価者向け研修） ・社内横断PJTの実施 （若手・中堅社員を中心に部門を横断したPJTに取組む：SDGs・マーケティング・MaaS・DXなど） ・資格取得管理規定の制定 （資格取得に係る費用の会社負担、資格取得に対する褒賞金） ・大型免許取得補助制度及び新卒での運転手候補生の採用 （入社5年で免許取得費用貸与金の返済免除）				4	5.5			8	9									
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・「はたらきやすい職場認証」を取得している ・目標管理制度による評価制度を導入している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・節目健診、管理職への生活習慣病予防健診の実施 （法定健診を上回る項目での健診実施） ・乗務員　睡眠時無呼吸症候群検査の実施 ・乗務員　脳MRI健診の実施			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・特別管理産業廃棄物管理責任者の認定を受けた係員が、廃棄物を適正に管理・処分している ・タイヤ廃棄業者からのマニュフェスト提出を求めている											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・毎月、バス車両の燃費実績、エコドライブの推進を業務連絡で配信している							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・低燃費車両やハイブリット車両の導入 ・燃費向上（エコドライブ、アイドリングストップ）を推進するため、省燃費運転講習を受講している ・車齢の高い車を定期的に更新 ・節電対策 （エアコンの適正温度設定の取組み。自動電源OFF設定・照明のLED電球化）							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者の認定を受けた係員が、有害化学物質を把握してを適正に使用している（整備事業部）			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・板金修理において、環境に配慮した水性塗料を使用している（整備事業部）						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・整備作業で発生した廃油は重油へとリサイクルされる ・フロー回収機（エアコンガス）の設置（松本・諏訪） ・リサイクル部品・リビルト部品（再生部品）の使用											12.5		14.1				
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ							6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・コピー用紙購入時には、環境配慮型商品を購入することを推奨している ・高圧洗車機更新による灯油使用量の削減(整備事業) ・業務をデジタル化しペーパーレスの推進(テレビ会議・デジタルアンケート・OSS推進による紙申請書類の削減)												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・グループコンプライアンスマニュアルとして明文化し方針を遵守している ・反社会的勢力に対する対応研修を定期的に実施している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・グループコンプライアンスマニュアルとして明文化し方針を遵守している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・許認可台帳を作成し、特許・商標権・許認可更新の管理を行っている ・広告表示管理台帳を作成し、適正な広告表示を行われているか、コンプライアンス会議にて共有している								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・グループ全体に定められた個人情報規定に則り、情報の取得・管理を行っている																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・乗務員教育を実施し、より満足度の高いサービスの実現に取り組んでいる ・輸送の安全性維持・向上を目的に、運輸安全マネジメント体制を構築している ・環境にやさしい省エネ車両に更新を進めている(鉄道) (LED車両照明・VVVFインバータ制御装置、SIV)			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・交通事故(有責事故)の削減方針を定め、毎月事故件数を共有している ・運輸事業本部会議(月1回)を実施し、安全に業務を行うための知識を共有する、ドラレコ映像を用いて指導、監督を実施している ・お客様からの声を、社内周知し、改善策を検討している									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・ユニバーサルデザイン対応の鉄道車両を導入している ・地域と連携しMaaSなど新たなモビリティの取組みに参画 ・インバウンド対応したアナウンス、表示を鉄道車両及び駅にて行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域イベントへ参加や、協議会へ出席し、地域における事業の影響を把握し検討・改善している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・自治体と協力し、小学生を対象に、電車の乗り方教室を開催している ・松本市防災時サポート事業所として、本社敷地・建物を災害時に避難場所として提供する協定を結んでいる ・月一度の社屋周辺の清掃活動を実施している(松本・長野地区) ・クリーンキャンペーンによる、沢渡・上高地地区の清掃活動を実施している ・信州大学『知の森』への寄付				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域の酒造とコラボした企画の実施 ・SAIにおいて、地域の果物などの販売								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・運輸安全マネジメントにより、安全方針、安全目標を設定し、年に1回内部監査を実施している ・経営理念・行動指針を明文化している ・経営理念・行動指針を朝礼時・管理職会議・全体会議の時など、全員で唱和し、共有化を図っている								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・コンプライアンスの周知目的として、eラーニングの実施・コンプライアンス通信の発信を行っている																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・SDGs担当者を選任している																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話し自社の活動の影響を把握するとともに、適切な対応を心掛けている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・年1回ごと業種ごとリスク管理プログラムとして、リスクの洗い出し、改善案の検討実施を行っている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																	16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・地震・水害・疫病・個人情報に関する事業継続計画(BCP)を策定している ・毎年避難訓練を行っている									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）